

貸 借 対 照 表

(単位:千円)

エスケーアイ開発株式会社

2022年9月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	433,110	【 流 動 負 債 】	64,091
現金及び預金	414,493	1年以内返済予定長期借入金	40,680
売掛金	11,177	未払金	1,532
未収入金	2,060	未払法人税等	13,266
前払費用	5,352	未払消費税等	3,825
その他	27	前受収益	4,171
【 固 定 資 産 】	467,824	賞与引当金	306
(有形固定資産)	356,416	その他	309
建物	112,734	【 固 定 負 債 】	388,451
構築物	6,645	長期借入金	305,070
機械及び装置	236,923	預り保証金	31,732
工具、器具及び備品	113	役員退職慰労引当金	11,890
(無形固定資産)	45,715	資産除去債務	39,758
借地権	36,074	負債の部計	452,542
電気ガス供給施設利用権	9,599		
その他	40		
(投資その他の資産)	65,692		
差入保証金	25,565	純資産の部	
長期前払費用	1,037	科 目	金 額
繰延税金資産	39,089	【 株 主 資 本 】	448,391
		[資 本 金]	200,000
		[利 益 剰 余 金]	248,391
		(その他利益剰余金)	248,391
		繰越利益剰余金	248,391
		純資産の部計	448,391
資産の部計	900,934	負債・純資産の部計	900,934

(注)記載金額は、千円単位を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの
時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
市場価格のない株式等
移動平均法による原価法

② デリバティブの評価基準および評価方法

デリバティブ 時価法

③ 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 月次総平均法による原価法
ただし、2009年9月期より、正味売却価額が取得価額を下回る場合には、正味売却価額で評価し、簿価切下額は原則として売上原価として処理する。
貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については定額法
無形固定資産 定率法
ただし、のれんについては20年以内で均等償却

3. 繰延資産の処理方法

① 株式交付費 支出時に全額費用として処理
② 創立費 支出時に全額費用として処理
③ 社債発行費 支出時に全額費用として処理

4. 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金
一般債権は貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不可能見込額を計上
② 賞与引当金
支給見込額のうち、当期に負担すべき金額を計上
③ 役員退職慰労引当金
内規に基づく期末要支給額を計上

貸借対照表に関する注記

1. 担保に供している資産および対応する債務

担保に供している資産	
売掛金	11,177千円
建物及び構築物	104,140千円
機械装置	236,923千円
合計	352,240千円
上記に対応する債務	
1年以内返済予定の長期借入金	40,680千円
1年以内返済予定の長期借入金	305,070千円
合計	345,750千円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 535,653千円

3. 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権 2,796千円
長期金銭債権 5,560千円
短期金銭債務 1,012千円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、減価償却超過額、資産除去債務等であり、繰延税金負債の発生の主な原因は、特別償却準備金、資産除去債務に対応する建物等であります。

1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産 112,097円98銭
1株当たり当期純利益 7,413円99銭

当期純利益金額 29,655千円

以上